

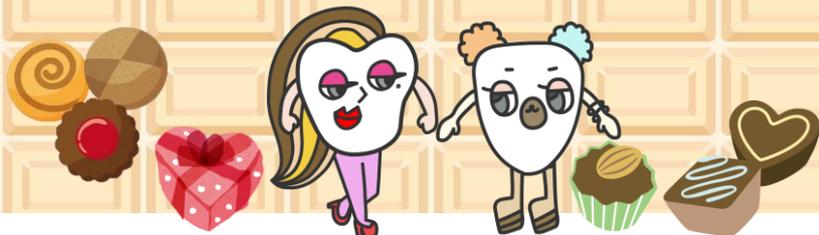
広島市歯科医師会だより



Hiroshima City Dental Association

2 月号

No.190 (R5.2.10)



目次

瓜生賢氏に当選証書	1 ページ
広島記念病院歯科部門閉鎖	1 ページ
行事報告	
新年互礼会	2 ページ
「CO・GO の保健指導マニュアルシート」及び 「ティースキーパー『ネオ』」の寄贈における感謝状贈呈式	2 ページ
支部だより	
中区支部	3 ページ
ちょっとイイ話	
休日診療保険請求における留意事項について(総務部)	4 ページ
「歯科におけるくすりの使い方」という本を購入してみました(学術部)	4 ページ
2022 年 12 月 17 日(土) ヒルトン広島にてクリスマスパーティー開催致しました!(厚生部)	5 ページ
「地域包括ケアシステム」と歯科の立ち位置(地域歯科保健部)	6 ページ
癒合歯について(地域歯科保健部)	6 ページ
各部からの報告	
広島市医療安全推進協議会より「こんな医療トラブルが起こっています」(総務部)	7 ページ
フッ化物配合歯磨剤の推奨される利用方法について(地域歯科保健部)	8 ページ
令和 4 年度 広島市各種健診(検診)受診率向上委員会(地域歯科保健部)	11 ページ
今月の知っておきたいこと(広報部)	11 ページ
FM ちゅーピー(広報部)	14 ページ
YouTube(広報部)	15 ページ
LINE 公式アカウント 友達募集	15 ページ
職員挨拶	15 ページ
会長コラム『柔しく剛く』 歯科医師国家試験について考える	16 ページ
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み	17 ページ
1 月定例理事会報告	18 ページ

瓜生賢氏に当選証書

日時：1月30日(月)午後1時

場所：広島市歯科医師会「会長室」

本会次期会長予備選挙候補届出期限の1月18日まで
に届出のあった者は瓜生賢氏のみであったため、本会選
挙管理委員会で審査の結果、同氏を次期会長予備選挙の
無投票当選者と決定し、木本極選挙管理委員会委員長か
ら当選証書が手渡された。

瓜生賢氏は昭和42年2月27日生(55歳)、広島大学
歯学部卒、広島市歯科医師会情報管理部理事、同保険・
医療対策部理事を歴任、令和元年から現在まで広島市歯
科医師会副会長。

任期は、令和5年6月24日の定時総会終結時より令
和7年6月に開催される定時総会終結の時までのほぼ
2年間である。



当選証書を受け取った瓜生賢次期会長予定者(左)
と木本極選挙管理委員会委員長

広島記念病院歯科部門閉鎖

3月末に広島記念病院歯科部門が閉鎖されます。

先方より、下の文書をいただきましたので、ご一読ください。

本会としては、引き続き、会員診療所と広島記念病院との周術期等口腔機能管理等連携を進め
るべく協議を行うこととしております。

2023年2月2日

広島市歯科医師会会員の皆様へ

国家公務員共済組合連合会広島記念病院
広島記念診療所
所長 山田 賢治

診療所閉院のご挨拶

このたび、2023年3月末日をもって、当診療所を閉院させていただくことになりました。

1998年より25年の長きにわたり、先生方には大変お世話になりました。

閉院後も広島記念病院におきましては、周術期等口腔機能管理を要する患者さんを多く抱え
ることになりますので、引き続き先生方との連携をよろしくお願いいたします。

末筆ではございますが、先生方のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

以上

行事報告

新年互礼会

日時：1月7日(土)午後5時

場所：県歯会館 2階「ハーモニーホール」

新年の事始め、対面での本会新年互礼会が3年ぶりに開催された。開催にあたり感染防止対策として、政府、および広島県が定めるガイドラインに沿って準備し、新入会員を含め70人が出席した。

能美和基専務理事の開会の辞に続き、国歌「君が代」ならびに「広島市歯科医師会会歌」の黙唱が行われた。熊谷宏会長の年頭の挨拶の後、山崎健次県歯会会長と松井一寛広島市長からご祝辞を頂戴した。

続いて鏡開きと併せて来賓でお招きした方々、出席した新入会員等の紹介を行った。鏡開きでは、(株)小泉本店の「御幸広島特撰」が振る舞われた。

引き続き卯年年男である荒川信介県歯会顧問が乾杯の

発声を行い、祝宴が始まった。今年は新入会員の中から林内優樹氏・松岡祐一氏・八谷文貴氏・永井亮氏・浅川隆司氏の5名が参加し、自己紹介を行った。談笑が続く中、午後7時に瓜生賢副会長の閉会の辞で終了した。

本年度の新年互礼会は、感染防止対策でオープニングパフォーマンスは行わなかったが、新入会員をはじめ、参加された先生方は最後まで心から楽しい時を過ごされているように見受けられた。来年度も会員の歯科医師会への帰属意識が高まるような、また、対外的な側面と、会員懇親の部分とを調和させた、皆様にとって有意義な新年互礼会を企画するので、本年度参加できなかった先生方は来年度是非ともご参加いただきたい。



(左)鏡開きの様子 (右)挨拶をする熊谷宏会長

「CO・GOの保健指導マニュアルシート」及び「ティースキーパー『ネオ』」の寄贈における感謝状贈呈式

日時：1月31日(火)午後7時

場所：中区役所 6階「教育委員室」

本会は、学校歯科保健への活用を目的に市立の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の計233校に対して「CO・GOの保健指導マニュアルシート」(日本学校歯科医会)及び歯の保存液「ティースキーパー『ネオ』」を寄贈した。

それに対し糸山隆広島市教育長より熊谷宏会長に感謝状が贈られた。

この感謝状贈呈式には、糸山教育長、本会より熊谷会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事、若林大輔理事、藤田友昭理事、石田一輝理事、水内裕之理事が参加した。

参考：日本学校歯科医会 HP→学校歯科医・関係者→図書・出版→出版物→CO・GOの保健指導マニュアルシート



(左) 寄贈品目録手交の様子 (右) 贈呈式に出席した役員と糸山隆広島市教育長

支部だより

中区支部

令和4年度 中區在宅医療・介護連携研修会

日時：1月20日(金)午後7時

場所：大手町平和ビル 5階「大会議室」

標記の会が新型コロナ第8波の中、対面式とオンラインでのハイブリッドで開催された。

橋本義政中区医師会理事の司会進行の下、田邊徹行中区医師会会長の挨拶が行われ、講師に岩崎庸子広島市西部認知症疾患医療センターセンター長を迎え、「地域で診る老年期精神疾患～認知症との鑑別～」の演題で講演が行われた。

講演内容は主に、「認知症と高齢者の精神疾患の違い」について講演され、精神疾患と認知症との特徴について、具体的に述べられた。我々の日常診療においても有用な内容と感じられた。

それから、グループワークへと移行し、各職種より活発な意見交換が行われた。

最後に、小西太中区医師会理事より「認知症初期集中事業報告」が行われ、研修会を終了した。

なおこの研修会には、本会地域歯科保健部より、若林大輔理事、石田一輝理事、前田羊一委員長、尾山奈々子委員、光山素夫委員が、中区支部より波田佳範支部長、香川次郎副支部長、小松大造氏、辰本将哉氏、森田薫氏、オンラインで山本亮氏が参加した。



研修会の参加者

総務部

休日診療保険請求における留意事項について

現在、休日診療保険請求のレセプトチェックは総務部が主体となって行っております。その際、間違いや気になった点を以下に記載しております。休日診療に出務する際の参考にさせていただけたら幸いです。

- ・診療録において、所見等行を空けてあとから手書きで記載することは問題ありませんが、1行を複数行に分けて記載しているケースがありました。1行に対して2~3行手書きで記載することは妥当ではありません。
- ・P 急発病名で咬合調整を行うも算定がないものがありました。この場合、「□ 二次性咬合性外傷の場合」が算定できますので算定していただければと思います。
- ・主訴の記載がないものや担当医名の記載がないものがありました。療養担当規則上、主訴・担当医名は必ず記載をお願い致します。

(森本 慎樹)

学術部

「歯科におけるくすりの使い方」という本を購入してみました

2022年11月に「歯科におけるくすりの使い方」という本がデンタルダイヤモンド社から出版されましたので買ってみました。今までのような論文からの抜粋ではなく読書感想文を書かせていただきます。尚、本の内容は月刊デンタルダイヤモンドで連載されたものを纏めた書籍となっていますので、購読されている方は読み飛ばしていただいて構いません。

さっそくですが、この本はタイトル通りに「薬の使い方」だけが書かれているわけではありません。薬を通しての近年の歯科関連治療を解説する内容になっています。

CHAPTER1「感染症治療薬」、CHAPTER2「鎮痛薬・抗炎症薬」、CHAPTER5「局所麻酔薬と精神鎮静法で使用される薬物」では歯科治療でおなじみの薬剤の作用機序や副作用、妊婦、授乳婦への配慮等、大学で学んだ知識の復習および更新ができるようになっています。

CHAPTER3「骨修復薬と歯科治療」は題目から予想される通り、ビスフォスフォネート製剤、顎骨壊死関連の内容です。最近のトレンドですので押さえておきたいCHAPTERです。

CHAPTER4「歯科関連疾患と薬物療法」ですが、このCHAPTERこそが、本書の根幹であると思っています。顎骨炎、骨髄炎の総論、ドライソケット、歯性上顎洞炎に対する薬物療法、顎関節症、神経障害全般、味覚障害、白板症、扁平苔癬、更には抗血栓薬服用中の患者対応、人工透析患者への対応、周術期口腔機能管理(III)での対応等、目を通しておきたい内容がこのCHAPTERに纏められています。

CHAPTER6は救急薬と救命処置、CHAPTER7は医科基本薬と基本知識、CHAPTER8は消毒薬・含嗽剤・口腔保湿剤。そしてCHAPTER9の漢方薬で本書は締めくくられます。

この本の触りだけを述べましたが、最後に私の感想です。

作用機序が丁寧に描かれており、学生時代の復習が出来ました。また2022年発行ということで、MRONJなどの新たな情報を更新できました。漢方薬だけ随分毛色の違う内容でしたが、あまり触れることのない分野なので楽しく拝読いたしました。難治性上顎洞炎の治療法については、何度も重複して登場しており、治療の難しさを実感しました。

また、薬学書としては当たり前かもしれませんが、商品名もきちんと書かれており、用量や用法も書かれているので今後の治療に役立つと感じました。全体を通して、腰を据えてしっかり読み進めたい本です。

ただ、逆に診療中に手に取りたい本ではありません。『歯科医のための「くすりの辞典」です』と本の帯には書かれています。宣伝用の帯なので、書籍とは関係ないかもしれませんが、辞典として活用するなら従来のおくすり辞典やインターネットでの検索の方が汎用性が高いです。

オンライン資格確認の原則義務化で患者の処方薬が分かるようになったタイミングで、この書籍は発行されました。それに活用できればと購入したのですが、その活用方法は諦めています。本の内容に目を通さずに購入した私が

悪いのですが、「医科基本薬と基本知識」のチャプターが 25 ページしかありません。定期連載を纏めた形式上、内容も他のチャプターと半分以上が重複しています。

期待していた内容ではありませんでしたが、450 ページで 9,000 円(税別)はかなり安いと思いますし、口腔外科を含めた幅広い投薬マニュアルをあまり読んでこなかったのが、私個人としては非常に満足しております。

そして、この本をきっかけに投薬の選択幅を広げていきたいと考えています。

参考文献

タイトル：歯科におけるくすりの使い方 2023-2026

発行日：2022 年 11 月 1 日

価格：9,000 円 (税別)

ページ数：467 (索引を含む)

(小早川 尚史)

厚生部

2022 年 12 月 17 日(土)

ヒルトン広島にてクリスマスパーティー開催致しました！

厚生部では、12 月 17 日に開催したクリスマスパーティーの様をお伝えしたいと思います。

クリスマスパーティーは2020年3月新型コロナウイルス感染症の拡大により開催が困難となってから、3年ぶりの待ちに待った開催となりました！

会場となったヒルトン広島では、本当にたくさんの方からのご応募をいただき、本会会員、家族、スタッフを含め総勢 337 名もの参加者が集いました。

今回のクリスマスパーティーでは、RCC アナウンサーの横山雄二氏のトークショーに始まり、コース料理を堪能しつつ、大抽選会では数々の豪華景品が並び、参加者たちが大いに楽しむ姿が見られました。

未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、クリスマスパーティー開催の是非について直前までどうなるか判断がつかない状況が続いていたので、この度開催が実現し、本当にうれしく思います。

今回残念ながら参加できなかった方々、来年度のご参加、ぜひお待ちしております！



横山雄二氏のトークショーを楽しむ参加者

(高橋 由佳)



抽選会の一コマ



お楽しみ抽選会に参加した子供たちの様子

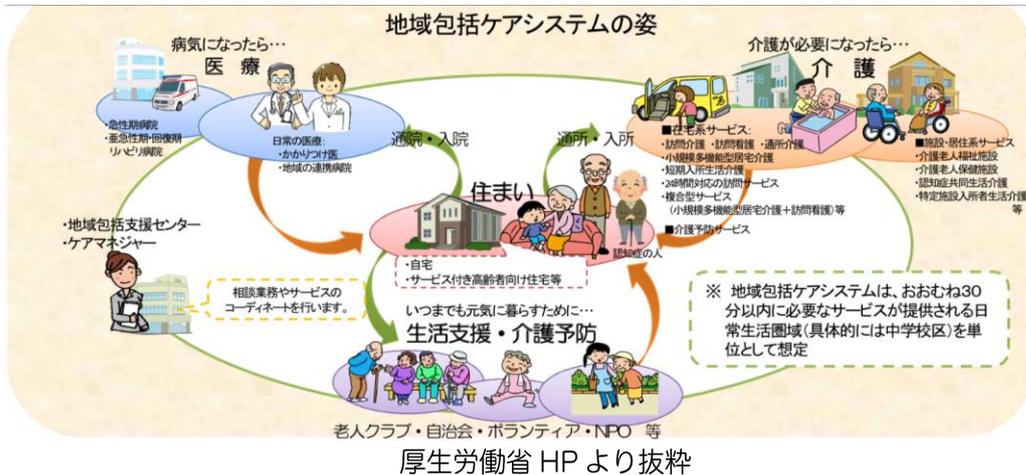
～厚生部からのお知らせ～

先生方の趣味に関する記事を募集しております。先生ご自身のこだわりの趣味について、広島市歯科医師会だより 1 ページ分、ご披露いただけますと幸いです。奮ってご応募ください！

「地域包括ケアシステム」と歯科の立ち位置

前回「2025 問題」「2040 問題」について言及しましたが、広島市でも高齢化に伴い「地域包括ケアシステム」の確立に向け、様々な取り組みがなされています。

地域包括ケアシステムとは、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される、地域の自主性や主体性にに基づき、地域の特性に応じて作るシステムです。今後高齢化に伴い、増えるであろう認知症高齢者を地域で支えるためのシステムづくりも進んでいます。



地域包括ケアシステムの中での歯科の役割の一例を紹介いたします。

- ・要介護高齢者を支えるチームの一員(多職種連携)
- ・各区各包括支援センターで開催される医療・介護連携に関わる諸会議・研修会への参加
- ・介護予防・日常生活支援総合事業への積極的な関わり
- ・一生口から食べていけるための、かかりつけ歯科医としての生涯を通じた口腔管理などが挙げられます。また、認知症高齢者に関しては
- ・認知症の早期発見・早期対応
- ・かかりつけ歯科医としての口腔機能管理などが挙げられます。

今後も広島市歯科医師会としてこれらに関する研修会をホワイトクロス、Web 研修会等を活用し行っていきますので、是非とも積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

今回は「地域包括ケアシステム確立のための広島市(4区)の取り組み」について解説いたします。

(藤田 友昭)

癒合歯について

日常の臨床において歯数や歯の形態異常に遭遇することは稀ではありませんが、その中でも乳歯の癒合歯は永久歯に比較して発現頻度が高く、乳歯の癒合歯や先天性欠如歯は乳歯列弓の形態に影響を与えるばかりでなく、後継永久歯の有無により永久歯列にも影響を及ぼします。

今回は癒合歯の発生頻度、発現部位、後継永久歯との関係についてまとめてみました。

- ・発生頻度
乳歯癒合歯の発生頻度は調査毎に少し差があるものの、3~5%の頻度で発生するといわれています。
- ・発現部位
乳歯癒合歯の好発現部位は前歯部で、90%が下顎に発現します。左右差はみられません。
歯種別では下顎のABの癒合とBCの癒合が多く、上顎のABの癒合は頻度が少ないようです。

表1 乳歯の癒合歯および欠如歯別発現者数

	男	女	計
調査人数	1,553	1,490	3,043
癒合歯発現者数	79 (5.09)	59 (3.96)	138 (4.53)
先天性欠如歯発現者数	3 (0.19)	4 (0.27)	7 (0.23)

数値は人数を示す(%)

表2 癒合歯の部位別発現状況

部位	性別	両側性	片側性	計
A/B	男	9	42	51 (35.2)
	女	2	16	18 (12.4)
	小計	11 (7.6)	58 (40.0)	69 (47.6)
B/C	男	4	22	26 (17.9)
	女	15	23	38 (26.2)
	小計	19 (13.1)	45 (31.5)	64 (44.1)
A/B	男	0	8	8 (5.5)
	女	1	3	4 (2.8)
	小計	1 (0.7)	11 (7.6)	12 (8.3)
計	男	13 (9.0)	72 (49.6)	85 (58.6)
	女	18 (12.4)	42 (29.0)	60 (41.4)
総計		31 (21.4)	114 (78.6)	145(100.0)

数値は人数を示す(%)； *：P<0.05
***：P<0.001

・癒合歯とその後継永久歯との関係

乳歯癒合歯の後継永久歯は高い頻度で独立して欠如することが多いといわれており、46%~68%の確率で後継永久歯の欠如、癒合が発生するとなっております。

特に下顎 BC の癒合では他部位の癒合に比べて欠如例が多いことがわかっています。

参考文献: 乳歯列における癒合歯, ならびに先天性欠如歯の臨床的検討

https://doi.org/10.20663/iwateshigakukaishi.11.2_121

(松岡 祐一)

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より

—こんな医療トラブルが起っています—

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われなように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：保証説明

インプラント治療の結果や保証内容への対応や説明に満足いかない。

(センターの対応)

気持ちを聞き、広島市消費生活センター、歯科医師会を紹介した。

(コメント)

インプラント治療は自費治療になるため、結果や予後に対しての患者の期待は大きい場合が多いと思われます。契約書を結んでいた場合であっても、文章では伝わりにくい場合がありますので、実際の症例や写真などを用いて合併症のリスクや予後も含めた十分な説明が必要です。

事例2：ワクチンハラスメント

新型コロナウイルスワクチン接種した患者は診療できないと張り紙がある。対応に納得がいけない。

(センターの対応)

歯科医師会を紹介した。

(コメント)

詳細が良くわかりませんが、社会通念上新型コロナウイルスワクチンを接種した患者を診療しないというのは、応召義務違反に該当すると考えられます。



フッ化物配合歯磨剤の推奨される利用方法について

フッ化物配合歯磨剤の推奨される利用方法について、日本口腔衛生学会・日本小児歯科学会・日本歯科保存学会・日本老年歯科医学会の4学会が合同でまとめ、発表されました。先生方の日々の診療にお役立ていただけますと幸いです。



https://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/news/2023/news_230106.pdf

4学会合同のフッ化物配合歯磨剤の推奨される利用方法

2023年1月1日

一般社団法人 日本口腔衛生学会

公益社団法人 日本小児歯科学会

特定非営利活動法人 日本歯科保存学会

一般社団法人 日本老年歯科医学会

日本の子どものう蝕は経年的に減少傾向にあるが、その罹患率は他の疾患と比較しても高く、また成人では約3人に1人が未処置う蝕を有し、高齢者ではう蝕経験者は増加している¹⁾。

う蝕予防のフッ化物応用は75年以上の歴史で安全性と有効性が繰り返し確認されており、中でもフッ化物配合歯磨剤は日本で広く普及している。フッ化物応用の研究のアップデートや、市販歯磨剤のフッ化物濃度の変更、国際的な推奨の更新を受け、日本のう蝕予防および治療を専門とする4学会合同で、現在の我が国における推奨されるフッ化物配合歯磨剤の利用方法をまとめることとした。

4学会合同のフッ化物配合歯磨剤の推奨される利用方法（2023年1月） （日本口腔衛生学会・日本小児歯科学会・日本歯科保存学会・日本老年歯科医学会）

年齢	使用量 (写真は約2cmの歯ブラシ ²⁾)	フッ化物濃度	使用方法
歯が生えてから2歳	米粒程度 (1~2mm程度) 	1000 ppmF (日本の製品を踏まえ 900~ 1000 ppmF)	・就寝前を含めて1日2回の歯みがきを行う。 ・1000 ppmFの歯磨剤をごく少量使用する。歯みがきの後にティッシュなどで歯磨剤を軽く拭き取ってもよい。 ・歯磨剤は子どもの手が届かない所に保管する。 ・歯みがきについて専門家のアドバイスを受ける。
3~5歳	グリーンピース程度 (5mm程度) 	1000 ppmF (日本の製品を踏まえ 900~ 1000 ppmF)	・就寝前を含めて1日2回の歯みがきを行う。 ・歯みがきの後は、歯磨剤を軽くはき出す。うがいをする場合は少量の水で1回のみとする。 ・子どもが歯ブラシに適切な量をつけられない場合は保護者が歯磨剤を出す。
6歳~成人・高齢者	歯ブラシ全体 (1.5cm~2cm程度) 	1500 ppmF (日本の製品を踏まえ 1400~ 1500 ppmF)	・就寝前を含めて1日2回の歯みがきを行う。 ・歯みがきの後は、歯磨剤を軽くはき出す。うがいをする場合は少量の水で1回のみとする。 ・チタン製歯科材料が使用されていても、歯がある場合はフッ化物配合歯磨剤を使用する。

- *乳歯が生え始めたら、ガーゼやコットンを使ってお口のケアの練習を始める。歯ブラシに慣れてきたら、歯ブラシを用いた保護者による歯みがきを開始する。
- *子どもが誤って歯磨剤のチューブごと食べるなど大量に飲み込まないように注意する。
- *根面う蝕の予防が必要な成人には5000ppmFの歯磨剤のう蝕抑制効果が認められている。現在日本では市販されていないため認可されることが望まれる。
- *要介護者で嚥下障害を認める場合、ブラッシング時に唾液や歯磨剤を誤嚥する可能性もあるので、ガーゼ等による吸水や吸引器を併用するのもよい。また、歯磨剤のために食渣等の視認性が低下するような場合は、除去してからブラッシングを行う。またブラッシングの回数も状況に応じて考慮する。
- *水道水フッロリデーションなどの全身応用が利用できない日本では、歯磨剤に加えフッ化物洗口や塗布の組合せも重要である。
- *写真²⁾の歯ブラシの植毛部の長さは約2cmである。

<解説>

あらゆる医薬品の適応や保健医療介入と同様に、フッ化物配合歯磨剤の使用については、メリット^{3,4)}とデメリット⁵⁾の両方が考慮されるべきである。双方を考慮した上で作成された現在の国際的な推奨としては、国際歯科連盟 (FDI)^{6,7)}や世界保健機関 (WHO) が作成したフッ化物配合歯磨剤の推奨⁸⁾が存在する。これらを参考としてさらに日本の状況を考慮し、今回の推奨は作成された。

歯磨剤のフッ化物濃度は高いほどう蝕予防効果が高いと考えられるが、飲み込みによるリスクを考え、年齢別の推奨をおこなっている。歯の形成期である乳幼児・小児に対しては、歯のフッ素症のリスクと⁵⁾、う蝕予防のメリット^{4,9)}のバランスを考慮する必要がある¹⁰⁾、メリットがリスクを上回ると考えられる利用法が推奨されており⁸⁾、本推奨もこれを踏襲した。

また、歯磨剤を乳幼児が誤って大量に食べたり飲み込んだりしないよう、使用方法、保管場所に気をつける。歯磨剤を製造する企業では、乳幼児向け歯磨剤についてはチューブを1本飲み込んでも問題ない総量のチューブの製品の製造・販売が基本的にされているが、大量摂取には注意する。また多くの市販される歯磨剤で、配合されるフッ化物濃度が記載されておらず、今回の推奨を守る上でもこのことは大きな問題である。歯磨剤の国際規格 (ISO 11609) では、容器にフッ化物の種類と濃度を表示することが義務づけられており、こうした国際規格に合わせ日本でも歯磨剤のフッ化物濃度の明記が求められる。さらに日本では味などの点で子ども向けの1450 ppmF の製品が少ないので、販売が望まれる。

日本では現在販売されていないが、5000 ppmF の高濃度フッ化物配合歯磨剤の有用性が知られており、ハイリスク者への利用が推奨されるようになってきている⁶⁾。特に、初期活動性根面う蝕は、5000 ppmF の歯磨剤の使用によって進行が停止する明らかなエビデンスが示されており、歯根表面が口腔に露出しやすい高齢者で、根面う蝕が多発するようなケースでは5000 ppmF の歯磨剤が有用である^{11,12)}。そのため日本でも診療ガイドラインで根面う蝕への対策として推奨されるようになった¹³⁾。先進諸国の多くは5000 ppmF の歯磨剤を歯科医師が処方しているが、処方箋なしで購入できる国も増えている。日本においても5000 ppmF の歯磨剤の販売の認可が求められる。

高齢者においても、根面う蝕を含むう蝕予防の観点からフッ化物配合歯磨剤の利用が推奨されている^{3,14)}。高濃度で酸性のフッ化物歯面塗布にはチタンインプラントを腐食させる可能性があるが、低濃度で中性のフッ化物配合歯磨剤ではその可能性はないと考えられる¹⁵⁾。また、フッ化物を配合しない製品に使われることがあるクロルヘキシジンには、う蝕予防効果がないことが報告されており¹⁶⁾、使用上の注意も存在する¹⁷⁻²⁰⁾。そのため天然歯へのう蝕予防効果を考え、インプラント患者にもフッ化物配合歯磨剤の利用が推奨されている¹⁵⁾。国際的にも全ての人へのフッ化物配合歯磨剤の利用が推奨されており⁶⁻⁸⁾、これらを本推奨も踏襲した。

<文献>

- 1) 厚生労働省：平成 28 年歯科疾患実態調査：[<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/62-28-02.pdf>]
- 2) 高柳篤史：フッ化物配合歯磨剤によるう蝕予防. 小児歯科臨床 27:16-23,2022.
- 3) Zhang J, Sardana D, Li KY ほか：Topical Fluoride to Prevent Root Caries: Systematic Review with Network Meta-analysis. J Dent Res 99:506-513,2020.
- 4) Walsh T, Worthington HV, Glenny AM ほか：Fluoride toothpastes of different concentrations for preventing dental caries. Cochrane Database Syst Rev 3:Cd007868,2019.
- 5) Wong MC, Glenny AM, Tsang BW ほか：Topical fluoride as a cause of dental fluorosis in children. Cochrane Database Syst Rev 2010:Cd007693,2010.
- 6) World Dental Federation：Caries prevention and management chairside guide(う蝕予防とマネジメント チェアサイドガイド)：[<https://www.fdiworlddental.org/caries-prevention-and-management-chairside-guide>]
- 7) World Dental Federation：Promoting Dental Health through Fluoride Toothpaste：[<https://www.fdiworlddental.org/promoting-dental-health-through-fluoride-toothpaste>]
- 8) World Health Organization：The selection and use of essential medicines: report of the WHO Expert Committee on Selection and Use of Essential Medicines, 2021 (including the 22nd WHO Model List of Essential Medicines and the 8th WHO Model List of Essential Medicines for Children). In. Geneva: World Health Organization; 2021.
- 9) Marinho VC, Higgins JP, Sheiham A ほか：Fluoride toothpastes for preventing dental caries in children and adolescents. Cochrane Database Syst Rev:CD002278,2003.
- 10) Wong MC, Clarkson J, Glenny AM ほか：Cochrane reviews on the benefits/risks of fluoride toothpastes. J Dent Res 90:573-579,2011.
- 11) Ekstrand KR, Poulsen JE, Hede B ほか：A randomized clinical trial of the anti-caries efficacy of 5,000 compared to 1,450 ppm fluoridated toothpaste on root caries lesions in elderly disabled nursing home residents. Caries Res 47:391-398,2013.
- 12) Srinivasan M, Schimmel M, Riesen M ほか：High-fluoride toothpaste: a multicenter randomized controlled trial in adults. Community Dent Oral Epidemiol 42:333-340,2014.
- 13) 日本歯科保存学会：根面う蝕の診療ガイドラインー非切削でのマネジメントー. In.: 日本歯科保存学会; 2022.
- 14) Griffin SO, Regnier E, Griffin PM ほか：Effectiveness of fluoride in preventing caries in adults. J Dent Res 86:410-415,2007.
- 15) 日本口腔衛生学会：フッ化物配合歯磨剤の利用はチタン製歯科材料使用者にも推奨すべきである：[http://www.kokuhoken.or.jp/jsdh/statement/file/statement_20150508.pdf]
- 16) Walsh T, Oliveira-Neto JM, Moore D：Chlorhexidine treatment for the prevention of dental caries in children and adolescents. Cochrane Database Syst Rev:Cd008457,2015.
- 17) m3.com：クロルヘキシジンに重大副作用追記、死亡例も 厚生労働省、「アナフィラキシー」などで改訂指示：[<https://www.m3.com/clinical/news/563383>]
- 18) 厚生労働省：クロルヘキシジングルコン酸塩又はクロルヘキシジン塩酸塩を含有する医療機器等に係る「使用上の注意」の改訂について：[<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-lyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000190392.pdf>]
- 19) 厚生労働省：医薬品等の使用上の注意の改訂について：[<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11121000-lyakushokuhinkyoku-Soumuka/0000184827.pdf>]
- 20) 厚生労働省：クロルヘキシジングルコン酸塩又はクロルヘキシジン塩酸塩を含有する医薬部外品の「使用上の注意」の改訂について：[<https://www.pmda.go.jp/files/000220530.pdf>]

令和4年度 広島市各種健診(検診)受診率向上委員会

日時：1月17日(火)午後7時30分

場所：広島市中区地域福祉センター 5階「大会議室」

広島市の特定健診受診率は、かつて他の政令市や県内市町の中で最下位であったため、平成28年度に「特定健診の受診率向上に関する検討委員会」が設置された。さらに令和2年度からは、特定健診のみでなく、がん検診等も含めた受診率向上を目的に「各種健診(検診)受診率向上検討委員会」と名称を改め、医師会等関係団体と広島市行政が連携し、受診率向上に関する検討を行うとともに、受診勧奨等の取り組みを重層的に進めることを目的として開催されていたが、**今年度より新たに「節目年齢歯科健診」が加わった。**

特定健診、がん検診の課題として、いずれも年々増加傾向にあるが、目標値に達しておらず、新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えが生じた影響がまだ残っていること等があり、改善に向けた取り組みとして、「集団健診の夜間実施」「未受診者への受診勧奨通知の送付」「無料クーポン」「連続受診者へのインセンティブ」「みなし健診」等が行われている。

一方、節目年齢歯科健診は他の政令市の中では上位であるものの、受診率は約12%とまだ十分とは言えない状況であり、本会では「節目年齢歯科健診の受診率向上に向けた検討委員会」が令和2年に広島市歯科医療福祉対策協議会と広島市行政とで行われ、働く世代の受診率が低いことと生涯切れ目ない歯科健診の実施の観点から、その後45歳、55歳が新たに加わり、本会アニメーション動画「ハハ姉妹」やポスター等を利用した普及活動を行っていること等を報告し、口腔管理は全身の健康との関連が深く、歯科医師会としては今後も密な医科歯科連携をお願いしたい旨を説明し、これからは、**医科も歯科も協力して、特定健診、がん検診、節目年齢歯科健診の周知に努める方針を確認し合った。**

今回本委員会に新たに歯科を加えてもらったことは、医科歯科連携を進めるうえで大変重要な一歩であり、今後も継続的に参加していく所存である。なお、本会からは若林大輔地域歯科保健部理事が出席した。

広 報 部

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

今月の知っておきたいこと

▼長引くコロナ禍で個別指導は減少するも感染対策のうで集团的個別指導を再開、26施設・16人を保険指定取り消し—2021年度指導・監査



GemMed(2023年1月19日)

<https://gemmed.ghc-j.com/?p=52097>

2021年度に個別指導を受けた保険医療機関等は前年度から41.6%減の1050件。長引く新型コロナウイルス感染症の影響で個別指導の件数は減少している。

一方、新規の個別指導、集团的個別指導については感染対策を十分に行ったうえで実施を再開・拡充している(集团的個別指導は20年度はコロナ感染症拡大防止のために実施していなかった)。

さらに、監査を受けた保険医療機関等は▼医科：20件(前年度から4件増)▼歯科：24件(同1件増)▼薬局：7件(同増減なし)の合計51件で、前年度から10.9%増加した。

また、保険指定取り消し処分などを受けた医療機関等は26件(前年度から7件減)、医師等は16人(同2人減)となった。

なお、監査の結果、返還された診療報酬は、合計で48億4051万円となり、その中には「虚偽の施設基準届け出」などを行い、10億円を超える不正請求をしていた医療機関もあった。

こうした状況が、1月17日に厚生労働省が発表した2021年度の「保険医療機関等の指導・監査等の実施状況」から明らかになりました(厚生労働省のサイトは[こちら](#))
(関連記事は[こちら\(2020年度\)](#)と[こちら\(2019年度\)](#)と[こちら\(18年度\)](#)と[こちら\(17年度\)](#)と[こちら\(16年度\)](#)と[こちら\(15年度\)](#)と[こちら\(14年度\)](#)と[こちら\(13年度\)](#))。

▼2024年度の診療報酬に向け、まず第8次医療計画・医師働き方改革・医療DXに関する意見交換を今春より実施—中医協総会



GemMed(2023年1月18日)

<https://gemmed.ghc-j.com/?p=52082>

2024年度の次期診療報酬改定に向けて、まず第8次医療計画、医師の働き方改革、医療DXについて幅広く意見交換を行い、その後、入院、外来、在宅、歯科、調

剤、感染症、個別事項等について議論していく（4月頃から夏頃までの第1ラウンド）--。

その後、秋頃から個別具体的な改定論議を深めていく（秋から冬までの第2ラウンド）--。

また、2024年度改定は、診療報酬・介護報酬の同時改定、さらに障害福祉サービス等報酬も含めたトリプル改定でもあり、3月頃から3回程度の意見交換会を行い、課題等の共通認識を醸成する--。

1月18日に開催された中央社会保険医療協議会・総会で、こういった方針が了承されました。

なお、医療DXに関しては、昨年末（2022年12月23日）の中医協で「患者・国民の声を丁寧かつ幅広く聴き、初診時・調剤時、再診時において、取得した医療情報の活用による医療の質の向上の状況等について十分に調査・検証を行い、課題が把握された場合には速やかに中医協へ報告の上、対応を検討する」旨の附帯意見（留意事項）が付されました（関連記事は[こちら](#)）。この点について「中医協で患者・国民の代表からヒアリングを行うべきか否か」が1つの争点となっており、今後、厚生労働省で調整が進められます。

▼オンライン資格確認等システム運用開始施設は40.6% 医療保険部会が原則義務化に向けた進捗状況の報告を受ける



社会保険旬報 Web 医療と介護 (2023年1月17日)

<https://info.shaho.co.jp/iryuu/trend/202301/15111>

厚生労働省の医療保険部会（部会長：田辺国昭／国立社会保障・人口問題研究所所長）は1月16日、オンライン資格確認等システムについて議論した。オンライン資格確認等システムの原則義務付けや健康保険証の廃止、電子処方箋導入の進捗状況、令和5年度保険局予算案等が事務局より報告された。

オンライン資格確認等システムについては、令和4年6月7日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本

ニュースピックアップ

▼第一三共、国産初のmRNAワクチン承認申請…2~8度の冷蔵保存可能



yomiDr. 2023年1月14日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20230113-0YT1T50344/?catname=news-kaisetsu_news

第一三共は13日、遺伝物質「メッセンジャーRNA (mRNA)」を使った新型コロナウイルスワクチンについて、厚生労働省に製造販売の承認を申請したと発表した。国内の製薬企業が開発した純国産ワクチンの申請は2例目で、mRNAワクチンは初めて。

◎国産ワクチンが承認申請されたと聞くと、やはり嬉しいですが、新型コロナウイルスに感染した時にすぐ使用できる特効薬も製造できるよう研究を進めていってほしいです。

▼小児の追加接種で治験開始 塩野義のコロナワクチン



THE SANKEI NEWS 2023年1月17日

方針2022」を受け、8月10日の中医協において答申・公表され、令和5年4月から保険医療機関・薬局への導入が原則義務化された。

原則義務化に向けた取組みとして、3師会（日本医師会・日本歯科医師会・日本薬剤師会）により設置されたオンライン資格確認推進協議会と厚生労働省が連携して、医療機関に向けてオンライン説明会を開催したり、地域ごとの説明会を8月以降42回開催したりするなどした。

結果として、顔認証付きカードリーダー申込数は全22万9936施設のうち20万8719施設（90.8%）まで普及した。一方で運用開始施設数は9万3378施設（40.6%）に留まる（いずれとも令和5年1月8日時点）。これらの状況を踏まえ、令和4年度末時点でやむを得ない事情がある保険医療機関・薬局には、期限付きの経過措置が設けられる。

▼アルツハイマー病の新たな治療薬「レカネマブ」、効果は？副作用は？米FDAが迅速承認



Yahoo!ニュース (2023年1月16日)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/03a8aa291dd843bde7cfa36cea0cecbc4aeb29e9>

アルツハイマー病は進行性の脳疾患で、多くは65歳前後で発症し、徐々に記憶障害、人格変化、精神障害などをきたし、最終的には死に至る。米国では現在、65歳以上の人々のうち約650万人がアルツハイマー病であると推定されている。米非営利団体アルツハイマー病協会は、2050年には1270万人に達すると予想している。

現時点では、一部の症状に対処する薬はあっても、アルツハイマー病を完治させる薬はない。アルツハイマー病患者やその家族は、軽度のうちに病気の進行を遅らせて、自立した日常生活を送れる期間を延ばす治療法を切望していると、米カリフォルニア大学アーバイン校の神経生物学者ジョシュア・グリル氏は話す。

<https://www.sankei.com/article/20230117-LHWG5BBRD5P2HLESRKLDW4WLXY/>

塩野義製薬は17日、開発中の新型コロナウイルスワクチンについて、5~11歳の小児を対象に3回目の追加接種用の臨床試験（治験）を開始したと発表した。昨年7月に始めた初回接種の治験では安全性に関して良好な結果を確認したことも明らかにした。

◎国内の5~11歳向けの追加接種では米ファイザー製ワクチンが実用化されています。塩野義は昨年11月、厚生労働省に20歳以上を対象にワクチンを承認申請しました。国内の製薬会社が開発したワクチンでは初めてで、現在は12~19歳を対象にした治験も進めているそうです。

▼コロナ補助金で赤字4億→黒字7億 病院平均、患者拒否で受給も



毎日新聞 2023年1月13日

<https://mainichi.jp/articles/20230113/k00/00m/040/011000c>

新型コロナウイルス対策に関する国の補助金事業により、受給した医療機関の収支が大きく改善したことが13日、会計検査院の検査で判明した。検査対象となった269医療機関の平均収支額は感染拡大前の2019年度は約4億円の赤字だったが、拡大後の21年度は約7億円の黒字だった。

◎医療機関の中には、コロナ患者の入院病床を確保するための補助金を受けながら、患者の受け入れ要請を断っていたケースもあり、看護師の人員確保が困難になった医療機関については補助対象の病床数を調整するような事業内容の検証や見直しが求められています。

▼アメリカで「江戸の入れ歯」が注目？調べると意外なことも…

NHK 国際ニュースナビ 2023年1月4日

https://www3.nhk.or.jp/news/special/international_news_navi/articles/cor/2023/01/04/28060.html

普段、アメリカ・ワシントンでホワイトハウスの担当をしている私。ある日、上司からこんな指示が…『江戸の入れ歯』の取材をしてきてもらえる？』江戸の入れ歯？しかも、なぜワシントンで？いろいろな疑問を持ちながらも、取材してきました。

◎江戸時代の義歯が吸着し、実用に堪えるものだったことは我々にとっては常識ですが、一般的には知られていないようです。もっと周知してほしい歴史ですね。

▼アトピーのかゆみはタンパク質の知覚神経刺激が原因 佐賀大など究明、治療薬開発目指す

THE SANKEI NEWS 2023年1月10日

<https://www.sankei.com/article/20230110-DRHZC43Z15L2BKRESJUGJXEC4/>

アトピー性皮膚炎のかゆみは、皮膚組織で作られるタンパク質が知覚神経を刺激して引き起こされると、佐賀大や富山大などの研究チームが10日、発表した。このタンパク質の作用を抑制すれば、かゆみを抑える効果も判明。

◎研究チームは「ペリオスチン」と呼ばれるタンパク質がアトピー性皮膚炎の慢性化につながるメカニズムを発見。その後、遺伝子操作でアトピー性皮膚炎のモデルマウスを開発し、かゆみの原因を研究してきました。より多くのかゆみの物質を解明し、どの患者にも対応できるようにするよう、頑張ってもらいたいです。

▼「好酸球性胃腸炎」長引く原因不明の吐き気、腹痛、血便…小児患者の10%超の可能性も

yomiDr. 2023年1月14日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20230111-0YTET50000/?catname=news-kaisetsu_kaisetsu-kikaku_shiritai

おなかが痛い、吐く、下痢をする——。原因が不明で、こうした症状が長く続いたり繰り返したりする場合、「好酸球性胃腸炎（EGE）」という病気かもしれません。非常にまれな病気と考えられていますが、症状がある子どものうち、1割強がEGEだったとする研究成果を、済生会横浜市東部病院の研究チームがまとめました。

◎好酸球製胃腸炎は稀な病気と考えられていた上に、子どもに内視鏡検査を行う医療機関が少ないため、なかなか診断されてこなかった疾患です。今後さらに研究が進み、早期診断早期治療できるようになって欲しいものです。

▼父親が育児関わった子ども 思春期の精神不調リスク 低い傾向に

NHK NEWS WEB 2023年1月13日

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230113/k10013948161000.html>

幼い子どもの育児に父親が関わる人が多いと思春期になったときに精神状態が不調になるリスクが低くなる傾向があることが、国立成育医療研究センターのグループが大規模な子どもの追跡調査を分析した結果、分かりました。父親が育児に多く関わることで、リスクの予防につながる可能性があるとしています。

◎2001年生まれの子どもの関する国の長期追跡調査をもとに、およそ1万8500人世帯について調べた結果です。生後6か月頃のおむつの取り替え、入浴、遊び相手をするなどでリスクが減る傾向があるそうです。

▼その物忘れ「スマホ認知症」かも 30～50代で急増中

THE SANKEI NEWS 2023年1月15日

<https://www.iza.ne.jp/article/20230115-EUWVQSN4NVJALFDI4BGME17XHM/>

スマートフォンを多用する50代以下の世代で、心身に不調をきたす人が増えている。SNS（交流サイト）を通じた情報収集・発信、ショッピング、ゲームや動画視聴などで「長時間利用が当たり前」という依存状態も珍しくない。診療の現場では、脳への負担増が原因で認知症に似た症状に陥る患者が増えており、スマホ依存のリスクを指摘する声が高まっている。

◎スマホ認知症は、脳過労で記憶の整理整頓に支障が出ている状態であり、生活習慣の改善で回復は可能だということです。そのためには、スマホから距離を置き、ぼんやりする時間を作ることや散歩、サイクリング、家事仕事などのように一定のリズムで体を動かすことが有効のようです。

▼去年11月の実質賃金 前年同月比 3.8%減 2014年以降の下げ幅

NHK NEWS WEB 2023年1月6日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230106/k10013942281000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_024

物価の上昇が続く中、去年11月の働く人1人当たりの実質賃金は前の年の同じ月に比べて3.8%減少し、消費税率が引き上げられ実質賃金が大きく落ち込んだ2014年以降の下げ幅となりました。

◎実質賃金が物価の上昇を背景に8カ月連続でマイナスとなったようです。働く人1人当たりの現金給与総額は11カ月連続で前の年の同じ月を上回っていますが、それ以上の物価上昇が続いています。物価上昇は歯科医院経営にも大きな影響を与えています。

▼国民年金保険料 スマホアプリで の納付が2月から可能に

NHK NEWS WEB 2023年1月2日



https://www3.nhk.or.jp/news/html/20230102/k10013939921000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_045

自営業者などが加入する国民年金の保険料が、2月から、スマートフォンのアプリでも納付できるようになります。厚生労働省は、若い世代の納付率の向上につなげたい考えです。

◎若い世代を中心とした世の中のキャッシュレス化の流れが、このような所にも表れているようです。医院の窓口支払いもキャッシュレス化していくのでしょうか。

▼父殺害、元医師が無罪主張＝ALS S嘱託殺人でも起訴—京都地裁

時事メディカル 2023年1月12日

<https://medical.jiji.com/news/55655>



難病の筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者への嘱託殺人罪などで起訴された元医師が2011年、父親を殺害したとされる事件で、殺人罪に問われた山本直樹被告（45）

の裁判員裁判の初公判が12日、京都地裁（川上宏裁判長）であった。山本被告は「父を殺害したということはない」と述べ、起訴内容を否認し、弁護側は無罪を主張した。

◎嘱託殺人の裁判はこれからのようですが、注目です。

▼小学生の6割は睡眠不足？ 1日 10時間寝ない生活が続けることで 起こる影響は

yomiDr. 2023年1月6日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20230105-OYTET50032/?catname=news-kaisetsu_kaisetsu-kikaku_shiritai



小学生の6割は、睡眠時間が9時間未満である——。こうした調査結果をスポーツ庁がまとめました。小学生の望ましい睡眠時間は、10時間前後とされていて、調査結果からは多くの子どもは睡眠が足りないと言えます。

◎脳を休めて免疫力を高める「ノンレム睡眠」と、記憶の整理と定着をする「レム睡眠」がとれる良い睡眠を心がけたいですね。

FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から
2月1日放送分

「体に影響を及ぼす歯周病」

広島市歯科医師会 福島整氏

歯は、食べ物が初めて出会う「消化器」です。歯周病による歯の喪失は、体に大きな影響を及ぼします。さらに、歯周病が体のさまざまな病気に関わっていることが分かってきました。歯周病を予防して、より健康な体を目指しましょう。広島市歯科医師会の歯科医師、福島整さんが話します。

2月15日放送分

「ドライマウスに気を付けて」

広島市歯科医師会 小林裕子氏

新型コロナウイルス感染症対策でマスクをすることが多い毎日です。気付かないうちに唾液分泌量が減少してドライマウスになっているかもしれません。ドライマウスになるとどんな症状が出るのでしょうか。また、なりやすい人は？ 原因や症状、対策を広島市歯科医師会の歯科医師、小林裕子さんが説明します。

【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル

ぜひご視聴ください。チャンネル登録をお願いします。



12月7日放送分

「歯がしみる原因」

広島市歯科医師会 松岡祐一氏

<https://youtu.be/hzQ7QWA-f9w>



12月21日放送分

「スペシャルニーズ歯科」

広島市歯科医師会 林内優樹氏

<https://youtu.be/u-oQP33Was>



広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用のLINE公式アカウント(非公開)を開設しました。



LINE 公式アカウント 友達募集中！



「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

今までの配信内容

- 1月26日配信 広島県より「令和4年度広島県原油価格・物価高騰に係る医療事業者補助金」が支給になります(要申請)
- 1月31日配信 医療機能情報提供制度に係る令和4年度の定期報告をお願いします

新規登録時に 管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。

職員挨拶

退任挨拶



村山美由紀

この度、一身上の都合により2月28日をもって退職することとなりました。

在職中は、先生方をはじめ皆様方に大変お世話になりました。

業務に従事する中で先生方、スタッフの皆様の患者様や市民の皆様への健康を願われる熱意を感じ、改めて広島市歯科医師会の素晴らしさを認識いたしました。

至らぬ点多々ありご迷惑もお掛けいたしました。微力ながらもこの業務に携わることができた事を誇りに思います。

これまでありがとうございました。心より感謝申し上げます。

令和5年1月28日、29日に第116回歯科医師国家試験が実施されます。本稿が先生のお手元に届く頃には、すでに実施され受験生は自己採点を経て3月16日の合格発表を祈るようになっていることだと思います。

私を含め、昭和の時代に国家試験を受けた先生方にとって、歯科医師国家試験は合格率90%を超えるもので、合格率が60%を超える程度である現状は、ピンとこないのではないのでしょうか。

昨年の第115回歯科医師国家試験では、出願者数3,667人、受験者数3,198人、合格者数1,969人であり、合格率61.6%、不合格者数は1,229人にのびります。

平成26年度の第107回以来、合格者数はほぼ2,000人前後であり、合格者数ありきの実質上選抜試験となっています。

この背景に歯科医師受給問題があることは明らかです。昭和40年代の歯学部新設ラッシュで、歯学部の入学定員が急増し、人口10万人あたりの歯科医師数も急増しました。

そこで、昭和57年には歯科医師過剰を招かぬようにとの閣議決定がなされ、昭和59年厚生省に設置された歯科医師受給に関する検討会の報告を受け、入学定員は国立大学を中心に概ね20%削減されました。平成10年には同検討会がさらに10%程度の削減を提言するも、1.7%

程度の削減にとどまりました。

平成18年には文部科学・厚生労働省の両大臣が、(1)歯学部定員について一層の定員減を大学に要請する(2)歯科医師国家試験の合格基準を引き上げる旨の確認書を交わし、方向性を示しました。

しかしながら、歯学部定員の削減は実施されないままに、歯科医師国家試験の合格基準だけが引き上げられ、現在の状況になっています。

私は大学卒業直後から現在に至るまで、歯科医師国家試験最大手予備校で講師をしてきましたので、歯科医師国家試験の変遷と苦しむ学生さんや親御さんの姿をこの目で見てきました。

残念ながら、今の歯科医師国家試験は、資格試験として機能していないだけでなく、出題のあり方そのものに大きな問題があります。

医師国家試験と比較するとよくわかります。歯科医師国家試験には、XXタイプ(正しいものをすべて選べ)という出題形式が採用されています。5つの選択肢のうち、正しいものの数が変わらないのです。0かもしれないし、すべて正しいかもしれないのです。当然極めて低い正答率となります。そもそも、多様性のある人体を扱う医療において、一つの可能性を明確にありえるか、ありえないかを判断することは難しいことです。医師

会長コラム (第43回)

柔しく剛く

歯科医師国家試験について考える
熊谷 宏

国家試験では、このような出題形式を「受験者が本質的でない部分にも過剰な注意を払い、必要以上に負担が大きくなるので、これまでも、今後も採用しない」と明確に宣言しています。当然のことです。

また、歯科医師国家試験で特徴的なのは、採点除外等の取り扱いをする、所謂「不适当問題」があまりにも多いことです。医師国家試験では毎年1、2問あるかないかですが、歯科医師国家試験では、全360問中前回は19問、前々回が20問と非常に多いのです。そのような問題に試験会場で接する受験生の気持ちを考えると怒りがこみ上げてきます。

歯科医師国家試験の現状については、日本歯科医師会会長予備選挙でも争点となっています。どの候補者も概ね同じような問題意識をお持ちの方ですので、歯科医師の質の担保という視点は忘れずに、現状の問題が改善されることを期待したいと思います。

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2023年1月)

新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2023年1月1日～1月31日)

世界・日本での経過	2023年	広島市歯科医師会での対応
新型コロナ 分類の見直し議論が本格化 公費負担継続などが焦点 国内累計感染者数 29,399,600人 世界累計感染者数 660,401,092人	1月1日	
	1月2日	会員相談対応抗原検査キット配布
中国 年末年始の国内旅行客感染拡大前の4割余にとどまる	1月3日	
インフルエンザ 全国的な流行期に コロナと同時流行懸念	1月5日	
新型コロナ感染者の葬儀で新指針 最後の別れができるように	1月6日	
米でオミクロン株の1つ「XBB.1.5」急速に拡大 感染力強い	1月7日	会員相談対応抗原検査キット配布
政府 中国本土からの直行便 今日から陰性証明求める 水際措置強化	1月8日	
新型コロナインフル同時感染の人も 専門家“重症化しやすい” 国内累計感染者数 30,667,773人 世界累計感染者数 664,571,413人	1月10日	会員相談対応抗原検査キット配布
WHO 初期調査 オミクロン株「XBB.1.5」米では感染力が強い傾向	1月11日	
“新型コロナの位置づけ引き下げ 総合的に判断” 官房長官	1月12日	
mRNA コロナワクチン 第一三共が承認を申請 国内の製薬会社で初	1月13日	
米 CDC 推計 オミクロン株「XBB.1.5」 コロナ新規感染者の4割余に	1月14日	
コロナ初確認 3年 官房長官「感染症法上の位置づけ見直し検討」	1月16日	
新型コロナ 専門家会合「感染者数減少傾向も死者数過去最多」	1月17日	
政府 新型コロナ今年春にも「5類」移行を目指す方針固める	1月19日	
国内累計感染者数 31,922,926人 世界累計感染者数 668,251,966人	1月20日	
米 CDC 推計 オミクロン株「XBB.1.5」 “コロナ感染者の約半数”	1月21日	
中国専門家 新型コロナ「人口の約80%感染」11億人余り感染か	1月22日	
日本版 CDC 名称は「国立健康危機管理研究機構」に 法案提出へ	1月23日	会員相談対応抗原検査キット配布 試供品 KN95 マスク発送
	1月24日	三役会 会員相談対応抗原検査キット配布
厚労省専門家会合 “コロナ減少傾向 インフルエンザ同時流行に注意”	1月25日	コロナ感染対策特別委員会 定例理事会
新型コロナ 「5類」への移行 5月8日に 政府が方針決定	1月27日	
米 CDC 最新推計 オミクロン株「XBB.1.5」 新規感染者の約6割に	1月28日	

集計元情報：Johns Hopkins 大学、厚生労働省、各自治体 ※以前のは前号参照

1月定例理事会報告

「部外報告」

- 12月28日 社会保険診療報酬支払基金再審査
1月12日 新規個別指導立会
" (県歯) 会員サポート室会議
" 【中止】広島市医師会 New Year Party 2023
1月17日 【Web】広島サミット県民会議第3回総会
1月19日 広島県国保連合会歯科再審査部会
1月20-24日 広島県国保連合会歯科審査部会
1月21日 中国・四国地区会長・日歯代議員合同会議
1月21-26日 社会保険診療報酬支払基金審査
1月23日 【Web】令和4年度第2回広島圏域地域医療構想調整会議

(連盟関係)

「総務関係」

- 12月28日 仕事納め
1月5日 仕事始め 事務局初詣(広島東照宮)
1月7日 会員面談
" 臨時理事会
" 広島市歯科医師会新年互礼会
1月16日 広島市歯科医師会会長予備選挙公示
1月16-18日 広島市歯科医師会会長予備選挙候補届受付
1月18日 広島市歯科医師会会長予備選挙届出締切
1月19日 広島市歯科医師会会長予備選挙無投票当選者通知発送
" 職員採用面接
1月24日 三役会
1月25日 コロナ感染対策特別委員会
" 定例理事会

(慶弔関係)

- 12月29日 西区支部 新谷睦之先生ご逝去
1月5日 西区支部 井口亨先生ご逝去
1月6日 南区支部 河村雅司先生ご逝去
1月24日 中区支部 熊谷謙二先生ご逝去

(入会退会関係)

(県歯理事会関係)

- 1月12日 (県歯)理事会

(1) 総務部 (森本理事)

- 12月28日 社会保険診療報酬支払基金再審査
1月5日 休診レセプト点検
1月7日 臨時理事会
" 広島市歯科医師会新年互礼会
" 新規指導面談
1月11日 (県歯)保険部常任委員会
1月18日 定例委員会
1月21-26日 社会保険診療報酬支払基金審査

(2) 学術部 (花岡理事)

- 1月7日 臨時理事会
" 広島市歯科医師会新年互礼会
1月13日 定例委員会

(3) 厚生部 (谷理事)

- 1月6日 定例委員会
1月7日 臨時理事会
" 広島市歯科医師会新年互礼会

(4) 地域歯科保健部

- 1月7日 臨時理事会
" 広島市歯科医師会新年互礼会
1月21日 (県衛連) ライフステージに応じた歯科口腔保健推進検討会議

<地域保健> (若林理事)

- 1月12日 中区介護認定審査会
1月16日 (県歯)広島口腔保健センター運営委員会
1月17日 令和4年度各種健診(検診)受診率向上検討委員会
1月18日 (県歯)地域保健部常任委員会
1月19日 中区介護認定審査会
1月20日 中区在宅医療・介護連携研修会
1月21日 (県)広島県民フォーラム21世紀のくらしを考える

<地域連携> (藤田理事)

- 1月5日 西区介護認定審査会
1月12日 西区介護認定審査会
1月19日 西区介護認定審査会

<学校保健> (石田理事)

(5) 広報部 (水内理事)

- 1月5日 【Web】校正委員会(だより1月号)
1月7日 臨時理事会
" 広島市歯科医師会新年互礼会
1月12日 FMちゅーピー収録
1月20日 【Web】情報調査委員会

FMちゅーピー (放送日)

- 2月1日 「体に影響を及ぼす歯周病」
広島市歯科医師会 福島整氏
2月15日 「ドライマウスに気を付けて」
広島市歯科医師会 小林裕子氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

- ホームページアクセス数
一般サイト 訪問者 1,503 (累計 121,243)
ページビュー 9,018 (累計 1,446,377)
会員サイト 訪問者 153 (累計 28,792)
ページビュー 868 (累計 280,950)
広報部 … Talking Heads<最新情報>
掲載件数 81件(12/21~1/20)
LINE公式アカウント 登録者数
1月20日 122名

(7) 特別委員会(選挙管理委員会)

1月25日 コロナ感染対策特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 各部事業計画について

(10) 歯科医療安全相談

1月20日 相談 歯科医師との意思疎通について
(61歳女性)

「協議事項」

(1) 入会について (1名)

継続審議

(2) 会費について (2名)

終身会員資格取得による会費額変更について
1名承認、診療状況変更による会費変更1名承認

(3) 学校歯科医・保育園嘱託歯科医の選任について

井口明神小学校、古胡英明氏の後任に楠橋由規氏を推薦することを承認
江波中学校、石嶋誠司氏の後任に鎌田浩一氏を

推薦することを承認

高須小学校、今田和秀氏の後任に松村英朗氏を推薦することを承認

神崎保育園、田中亮三氏の後任に小島将督氏を推薦することを承認

千田小学校、山崎健次氏の後任に橋本佳子氏を推薦することを承認

大芝小学校、福島一則氏の後任に藤田友昭氏を推薦することを承認

(4) 休診お知らせプレート修正について
継続審議

(5) 休日歯科救急医療研修会について
対面形式の研修会に戻して良いか協議

(6) 令和5年度事業計画案・予算案について
事業計画案について各部にて協議検討

(7) その他

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局

E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 水内裕之

E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba

本会PASS : 2622662

協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは毎月25日です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

